

個人質問



庁内横断的な視点に立った、公共施設マネジメントが求められる。(写真：旧八尾図書館跡地)

その他の質問等

- PPPやPFI手法の再検討
- 一般ごみ収集における現業職員不補充の継続
- 平和のための防衛力の必要性

Q 建物の寿命や市民ニーズの変化に対応しながら、既存の公共施設をどのように次世代へ引き継ぐのか。

A 老朽化が進む各施設について、組織としてのスケールメリット等も鑑みながら、将来の機能更新も見据え、施設個々の今後のあり方について検討すべきものと考えている。

Q 現在、臨時の駐輪場となっている旧八尾図書館の跡地活用については、どう検討しているのか。

A 本庁舎に近接し、有用性が高く、かつ希少な土地であり、一旦売却すると再取得が困難であることも踏まえ、有効活用・最適利用を図っていくことが必要と考えている。



八尾保守の会
まつたのりゆき
松田 憲幸



公共施設の将来像
市民と共に考えよ



個人質問

R7

9

月定例会

個人質問とは、議員が市政全般について、市民の代表として行う質問のことをいいます。八尾市議会では、答弁を含まず、ひとり30分の持ち時間となっています。



八尾保守の会
かわかみまい
川上 舞



特区民泊制度への
本市の今後の対応は



民泊事業には地域住民の生活環境や安全・安心の確保が重要となる。

その他の質問等

- 新婚世帯への家賃補助や結婚祝い金制度の導入
- 出産前後の心理的・経済的ハードルを下げる施策

Q 本市における特区民泊の実績は。

A 令和7年8月1日時点での認定施設は6件であり、申請中の施設はない。

Q 本市が特区民泊実施可能自治体となった経緯は。

A 都市機能の一つとして宿泊施設の必要性を認識していたことから、特区民泊事業対象区域となる意向を示し、制度の運用を開始した。中核市への移行に伴い府から事務移管を受け、特区民泊実施区域となった。

Q 外国資本による経営・管理ビザ取得を目的とした制度の悪用や地域住民の意思を無視した民泊営業が問題となっている。特区民泊に対する本市の今後の方針はどうか。

A 地域住民の生活環境や安全・安心の確保を最優先に、府下の実施地域の動きも踏まえ、事業のあり方を検討していく。



延滞金の減免においても税の減免同様に、生活困窮等の免除事由の確認書類の提出が望まれる。

その他の質問等

- 空き家対策と固定資産税
- 市税徴収における分納や延滞金免除
- 職員の副業・兼業制度

Q 40年以上にわたり市税の分納誓約書の締結をもって分納に加えて誓約日以降の延滞金を免除している運用は不適切であり、法の拡大解釈であると考えている。また、納期限内に納付した市民との間に不公平が生じていると考えるがどうか。

A 適正な事務執行であると認識しているが、改めて整理するきっかけとしたい。

Q 分納誓約した市民自身が、延滞金を免除されている認識がない事例もあるがどうか。

A 今後、相談者には丁寧な対応と、分かりやすい説明を重ねていきたい。

Q 市職員の兼業許可について、多様で開かれた行政を実現するため、許可基準を市民及び職員に周知すべきと考えるがどうか。

A 許可基準を明確化し周知を図るとともに、制度改善にも積極的に取り組んでいく。



八尾の未来を紡ぐ会
しばたにまさや
柴谷 匡哉



暮らしを支える市税
公平・公正な徴収を



大阪維新の会
かげやまわか
景山 和香



市立病院における
無痛分娩の導入を



Q 現在、本市には無痛分娩を取り扱っている医療機関はないが、市立病院は無痛分娩の導入について前向きに検討を行っているのか。

A 無痛分娩導入に向けたプロジェクトを令和7年度に立ち上げ、当院における無痛分娩導入の可否の判断や情報提供等をどのように進めるかについて検討を始めている。

Q 産後ケアに関して、利用したい時に予約が取れないといった声もあるが、すべての希望者が利用できる状況にあるか。

A 施設数は増加しているものの、施設ごとに予約開始時期等が異なることから利用状況に差が生じているため、利用者が早期に情報収集や予約を行えるよう、事前の問合せを促すなどの案内方法について検討していきたい。

無痛分娩とは

陣痛による強い痛みを麻酔により和らげる分娩方法のこと。痛みが軽減されることで、産後の育児に向けて体力を温存できることや落ち着いて出産に臨める等のメリットがある。

その他の質問等

- ママサポート
- 不妊治療の職場理解
- 子育て施策の魅力発信
- 公立病院の役割



朝の子どもの居場所をめぐる問題への対策が求められる。

その他の質問等

- PFS (Pay For Success) などの新しい官民連携の手法の導入

Q 高齢者の命を守るための熱中症対策として、エアコン設置助成制度を創設すべきと考えるがどうか。

A 近年の猛暑の実態を踏まえ、高齢者の熱中症対策は重要な課題と認識しており、実態把握に加え、他市の事例を参考にして対応を検討する。

Q 午前7時頃から小学校門が開くまで何十分も待つ児童がいる状況を踏まえ、「朝の小1の壁」を解消するための対策を早急に実施すべきと考えるがどうか。

A 20人から50人ほどの児童が校門前で待機している学校があることは把握している。保護者の不安を解消するため、子どもや保護者に寄り添い、子ども達が安全に過ごせる環境づくりを進めていく。



公明党
にしたなおみ
西田 尚美



高齢者の熱中症対策
エアコン設置すべき



個人質問



公明党
みなかた 武
手話リンクを活用し
手話言語を推進せよ

Q 聴覚や発話に困難のある市民が、気軽に行政窓口問合せすることが可能となる「手話リンク」の導入を本格的に検討すべきかどうか。

A 情報アクセシビリティの強化策として手話リンクは非常に有用な取り組みだと認識しており、導入の可否についてスピード感を持って検討する。

Q 精神疾患オンライン初診の仕組みについては、市民の多様な状況に応じた支援体制構築に向けて、導入を積極的に検討すべきかどうか。

A オンライン診療は、医療提供のあり方のひとつの有効な手段であると認識しており、国の動向に留意し、福祉や教育などの関連部局と連携しながら調査研究を進める。

手話リンクとは

会話に手話を必要とする方が、ホームページ上から電話リレーサービスの手話通訳オペレータを介して、行政などの窓口への問合せが事前登録なしでできる法人向けサービス。導入費用がかからず通話料のみで利用が可能。

その他の質問等

- 再生リン資源の地産地消



日本共産党
たなか ゆうこ
田中 裕子
保育園の充実に伴う
保育サポート拡充を

Q 小・中学校の給食費無償化や18歳までの子ども医療費助成に係る費用負担を府に求め、市民の暮らしを守る施策の財源を確保していくべきかどうか。

A 国や府の動向を注視しながら要望などの取り組みを進め、財源が確保できれば、他の政策に財源をしっかりと充てていく必要があると考えている。

Q 保育サポートの拡充には保育環境の充実を伴うことが必須だと考えるが市の認識は。また、年度途中における保育サポートの受入れを、市政運営方針のとおり積極的に進めたい。

A 保育環境の充実をめざした取り組みを、今後も進める。年度途中の保育サポートの受入れについては、状況に応じて前向きに議論を行いたい。



保育サポートの受入れ人数の拡充には保育環境の充実が伴われることが重要である。

その他の質問等

- 八尾市多文化共生推進計画
- 過去の戦争等への向き合い方
- 万博遠足の欠席者数、体調不良者数及び熱中症対策



八尾保守の会
つゆはら ゆきたか
露原 行隆
チーム担任制による
学校の働き方改革を

Q 複数の教員が担任業務に関わるチーム担任制は、育児や介護などにより短時間勤務となる場合でも担任業務が継続でき、各地で導入が広がっている。本市の見解は。

A 児童・生徒を複数の教員で見守ることができ、業務の共有により教育の質の向上や教員の負担軽減にもつながる有効な取り組みであると認識しており、本市においても小学校高学年を中心に教科担任制の拡大を図っている。

Q フルタイム教員のほか、時短、非常勤教員を加えたチーム担任制導入について、現場で働く教員から要望があった際の対応は。

A 学校規模により教員の配置数が異なるため、一律に実施できるかどうかは検討が必要だが、各学校の人員体制の中で工夫していくことについては、協議していきたい。



チーム担任制により働き方改革が進み、持続可能な学校運営体制の構築も期待される。

その他の質問等

- 市民憲章を生かしたまちづくり
- 市役所の完全フレックスタイム制度
- 通知表の在り方

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

EBPM (エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング)とは

政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づくものとする。

その他の質問等

- ワイズ・スペンディングの実現に向けたPFSの活用
- PFS実装に向けたモデル条項の整備とひな形の作成



大阪維新の会
いなもり ひろき
稲森 洋樹
見える化と成果運動
政策形成の新基準

Q EBPM体制を整備し、政策立案に活用することができるよう、施策ごとにKPIを設定し、施策効果の可視化と検証を進めるべきかどうか。

A EBPMに基づく政策立案を庁内に周知しており、新規及び重点事業の立案時には課題分析や効果予測に基づいた根拠資料の提出を求め、事業査定の判断をしている。

Q ダッシュボード導入は政策形成や予算編成のあり方を変える契機となるかどうか。

A 成果を視覚的に捉える有効な手法であり、可能な部分から導入を検討していく。

Q PFSを標準的手法として根づかせるためには、政策や財政など官房部門が主導して試行的に導入すべきと考えるかどうか。

A PFSを推進していく手法として有効であると考えている。

※所属会派については令和7年9月9日時点の情報です。



日本共産党
おちこ たえこ
越智 妙子
気温38度超体育館や
登下校時の対策を

Q 登下校時の気温が38度を超えるような状況において、市としても熱中症対策等の検討が必要と考えるかどうか。

A 児童・生徒が安心して登校できる体制を作るため、不安や心配を抱える保護者等からの相談に対し、寄り添った対応を行うよう各学校へ指導していきたい。

Q 太陽光パネルのリサイクル時に、ヒ素・カドミウム・鉛等の有害物質が流出するのではないかといった不安の声を聞くが、市の認識は。

A 太陽光発電設備の廃棄やリサイクルについては国がルール作りを進め、市民が安心できる制度を整備するとともに、市としては問合せ等に対して十分な説明を行っていきと考えている。



気候変動への適応という考え方の普及をめざす。(出典：おおさか気候変動「適応」ハンドブック)

その他の質問等

- 水道基本料金無料化の実施
- クールスポットを広げるべき
- 小型ジェット機等の利用制限撤廃による地域住民への影響調査

おしえて 議会のコトバ



Q 決算審査 ってなに？

A

市長及び公営企業管理者から提出された各会計の予算の執行が適正で効率的・効果的に行われたかどうかを審査するものです。
八尾市議会では議長を除く23名の議員で審査しており、市民の皆様の税金の使われ方を最後までしっかり確認しています。